



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000(代)
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,171	4.1	1,489	41.4	1,562	37.2	1,138	21.3
2020年3月期第3四半期	10,728	5.5	1,053	36.3	1,139	35.5	939	6.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,134百万円(23.0%) 2020年3月期第3四半期 922百万円(64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	34.25	—
2020年3月期第3四半期	28.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,672	9,009	61.4
2020年3月期	13,086	7,887	60.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,005百万円 2020年3月期 7,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	2.2	650	50.6	750	43.7	550	46.7	16.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	37,371,500株	2020年3月期	37,371,500株
2021年3月期3Q	3,932,339株	2020年3月期	4,377,499株
2021年3月期3Q	33,258,597株	2020年3月期3Q	32,996,097株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド ㈱天夢人 ㈱iDMP Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、コロナ禍における新刊刊行の遅れや出版広告の減少等による雑誌事業の減収、イベントのオンライン開催への仕様変更等に伴う規模縮小による減収があったものの、既刊書籍及びカレンダーの出荷、電子出版やデジタル・ターゲットメディア広告が好調に推移したことにより、コンテンツ事業の売上高は前期（9,178百万円）に比べ1.1%増加し、9,280百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業や音楽分野の楽器マーケットプレイス「デジマート」が好調に推移し、売上高が前期（1,640百万円）に比べ23.5%増加し、2,025百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（10,728百万円）に比べ4.1%（443百万円）増加し、11,171百万円となりました。営業利益につきましては、増収と売上原価の減少等による収益性の改善により、前年同期（1,053百万円）に比べ435百万円増加し、1,489百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（1,139百万円）に比べ423百万円増加し、1,562百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（939百万円）に比べ199百万円増加し、1,138百万円となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントにつきましては、雑誌の季刊化、コロナ禍における出版広告及びイベントのオンライン開催への仕様変更等に伴う規模縮小による減収があったものの、書籍や電子出版の販売増に加えて、PV増加等によりデジタル広告が好調に推移したほか、イベント開催の減少によりターゲット広告の需要が高まったことで、コンテンツ事業の売上高は前期（4,709百万円）に比べ1.6%増加し、4,784百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前期（120百万円）に比べ34.5%増加し、161百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（4,829百万円）比2.4%増の4,946百万円となりました。セグメント利益は、増収と売上原価の減少等による大幅な収益性の改善と販売管理費の減少により、前年同期（663百万円）と比べ312百万円増加し、976百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントにつきましては、音楽アーティスト関連の大型受託案件によりソリューション事業の売上高が増加したものの、雑誌の季刊化等による雑誌事業の大幅な減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（1,177百万円）に比べ11.3%減少し、1,045百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入の増加により、売上高は前期（223百万円）に比べ26.3%増加し、282百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（1,400百万円）比5.3%減の1,327百万円となりました。セグメント利益は、減収となったものの販売管理費が減少したことにより、前年同期（31百万円）と比べ4百万円増加し、36百万円となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、電子出版、書籍及びカレンダーの出荷が好調に推移したことに加えて、Impress Business Development(同)から書籍レーベル「立東舎」を事業移管したことも影響し、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期(727百万円)比26.6%増の920百万円となりました。セグメント利益では、増収と大幅な収益性の改善により、前年同期(73百万円)と比べ97百万円増加し、171百万円となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子出版、既刊書籍及びカレンダーの出荷が好調に推移したものの、コロナ禍における雑誌事業の減収や新刊書籍の刊行遅れ等が影響し、コンテンツ事業は若干の減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期(1,617百万円)並みに推移し、1,613百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期(272百万円)と比べ29百万円減少し、242百万円となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、電子出版が好調に推移したものの、英語関連教材の販売減による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期(211百万円)と比べ12.7%減少し、184百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの大幅な増収により、売上高は前期(1,174百万円)と比べ23.5%増加し1,450百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期(1,385百万円)比18.0%増の1,635百万円となりました。セグメント利益では、増収と大幅な収益性の改善により、前年同期(184百万円)と比べ167百万円増加し、351百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、デザインセグメントに移管した出版事業の減収があったものの、著書向けPOD出版プラットフォームサービスの販売増加や鉄道分野のパートナー受託案件が好調に推移したこと等により、売上高は前年同期(859百万円)比1.4%増の871百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性が改善したものの販売管理費が増加したことにより、前年同期(18百万円)と比べ23百万円減少し、4百万円の損失となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入やグループ内手数料の増加等により、前年同期(1,293百万円)比16.2%増の1,503百万円となりました。セグメント利益では、人件費の増加はあったものの、増収により前年同期(112百万円)と比べ126百万円増加し、238百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金の増加や季節の変動要因による受取手形及び売掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,585百万円増加し14,672百万円となりました。負債につきましては、季節の変動要因による賞与引当金の減少や有利子負債の返済等による減少はあったものの、仕入債務等の増加や未払法人税等の計上による増加により、463百万円増加し5,662百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、1,122百万円増加し9,009百万円となりました。

自己資本は9,005百万円となり、自己資本比率は61.4%と前連結会計年度末(60.3%)と比べ1.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期連結業績予想の修正)

当第3四半期連結会計期間において、既刊書籍及びカレンダーの出荷、デジタルコミック等の販売プラットフォーム事業やデジタル・ターゲットメディア広告が好調に推移したことで、第4四半期連結会計期間における書籍及びカレンダー・年賀状ムックなどの大型季節商品の返品、コロナ禍の景気低迷による広告・受託案件の減少など下振れリスクの影響が限定的であると判断し、2021年2月4日に以下のとおり通期の連結業績予想を上方修正しております。

連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2020年11月4日発表予想(A)	13,500	450	540	375	11.26円
2021年2月4日発表修正予想(B)	13,800	650	750	550	16.54円
増減額(B-A)	300	200	210	175	—
増減率	2.2%	44.4%	38.9%	46.7%	—

(配当予想の修正)

当社の配当政策は、連結及び単体の業績及び財務状態に応じた利益配当を行うことを基本方針としており、最低限の配当を確保した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の基準としております。

当期の配当予想につきましては、2021年2月4日に通期の連結業績予想を修正したことに伴い、以下のとおり修正しております。

配当予想

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
2020年8月12日発表予想	—	2.00	2.00
2021年2月4日発表修正予想	—	3.50	3.50

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,051,529	5,870,690
受取手形及び売掛金	3,998,341	5,123,782
有価証券	400,000	100,000
商品及び製品	1,102,519	1,197,888
仕掛品	135,579	111,088
その他	502,896	553,574
返品債権特別勘定	△18,100	△21,900
貸倒引当金	△1,984	△683
流動資産合計	11,170,781	12,934,442
固定資産		
有形固定資産	388,688	358,609
無形固定資産		
ソフトウェア	151,995	154,518
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	166,440	168,963
投資その他の資産		
投資有価証券	633,236	509,340
繰延税金資産	263,453	270,232
その他	463,798	430,532
投資その他の資産合計	1,360,489	1,210,106
固定資産合計	1,915,618	1,737,679
資産合計	13,086,400	14,672,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,445	1,611,885
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	75,000
未払法人税等	84,870	354,006
賞与引当金	196,561	29,588
役員賞与引当金	—	37,429
返品調整引当金	159,941	214,246
その他	1,391,083	1,474,653
流動負債合計	3,699,902	4,146,809
固定負債		
長期借入金	187,500	150,000
繰延税金負債	2,168	—
退職給付に係る負債	1,203,406	1,259,664
長期末払金	104,242	104,242
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,498,742	1,515,331
負債合計	5,198,644	5,662,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,667,861	1,655,543
利益剰余金	1,676,102	2,732,572
自己株式	△781,315	△701,808
株主資本合計	7,903,669	9,027,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,144	△447
為替換算調整勘定	51,241	50,817
退職給付に係る調整累計額	△87,300	△72,123
その他の包括利益累計額合計	△15,913	△21,753
非支配株主持分	—	4,404
純資産合計	7,887,755	9,009,980
負債純資産合計	13,086,400	14,672,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	10,728,277	11,171,430
売上原価	6,274,987	6,196,935
売上総利益	4,453,290	4,974,494
返品調整引当金繰入額	30,382	58,105
差引売上総利益	4,422,908	4,916,389
販売費及び一般管理費	3,369,643	3,427,335
営業利益	1,053,264	1,489,054
営業外収益		
受取利息	1,254	762
受取配当金	871	800
持分法による投資利益	77,948	69,562
その他	10,516	6,468
営業外収益合計	90,590	77,594
営業外費用		
支払利息	3,064	3,024
為替差損	378	440
支払手数料	750	—
その他	244	469
営業外費用合計	4,436	3,934
経常利益	1,139,419	1,562,714
特別利益		
投資有価証券売却益	41,444	35,391
その他	—	1,899
特別利益合計	41,444	37,291
特別損失		
事業撤退損	—	18,556
投資有価証券売却損	—	39,000
投資有価証券評価損	—	10,999
特別損失合計	—	68,556
税金等調整前四半期純利益	1,180,863	1,531,450
法人税、住民税及び事業税	244,024	393,140
法人税等調整額	△2,295	△1,649
法人税等合計	241,728	391,490
四半期純利益	939,134	1,139,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	939,134	1,138,955

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	939,134	1,139,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,303	△20,592
為替換算調整勘定	382	△424
退職給付に係る調整額	21,933	15,177
その他の包括利益合計	△16,987	△5,839
四半期包括利益	922,146	1,134,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	922,146	1,133,115
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,004

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,829,722	1,400,931	727,076	1,617,386	1,385,617	9,960,734	859,661	△92,118	10,728,277
セグメント利益	663,946	31,938	73,847	272,014	184,388	1,226,135	18,274	△191,145	1,053,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△191,145千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△92,118千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,166,241千円、セグメント間の営業費用の取引消去1,067,214千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,946,597	1,327,170	920,496	1,613,459	1,635,244	10,442,967	871,350	△142,888	11,171,430
セグメント利益 又は損失(△)	976,215	36,595	171,289	242,490	351,822	1,778,412	△4,916	△284,441	1,489,054

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△284,441千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△142,888千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,235,287千円、セグメント間の営業費用の取引消去1,093,733千円が含まれております。